











大腸切除術を受ける患者様へ(開腹・腹腔鏡下)

No. 1


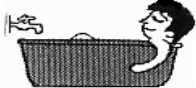


患者氏名 _____ 様 担当医師 _____ 受持ち看護師 _____ 署名(本人・代理人) _____

月日	入院当日		手術前日		手術当日(手術前)		手術当日(手術後)		手術後1日目	
項目	入院当日		手術前日		手術当日(手術前)		手術当日(手術後)		手術後1日目	
達成目標	*入院生活、手術について説明を受け、理解する *手術前の準備を整える *不明なことは聞きましょう						*痛みや症状を報告する *痛みが楽になるよう処置を受ける		*回復を早めるために身体を動かす(身体を起こす・立つなど)	
治療・薬剤(点滴・内服)処置	・内服している薬を見せて下さい。服用する薬を説明します 		・入浴後、点滴を行いません  ・午後2時に水の下剤を内服します ・夜9時に下剤と睡眠薬を内服します 		 ・点滴は24時間続きます ・排便がない場合は洗腸を行う場合もあります ・血栓予防の弾性ストッキングをはきます		・酸素吸入をします ・背中に痛み止めの管が入っています ・鼻から胃に管が入っています ・腹部に管が入っています		・状態により酸素マスクが取れます ・痰を出すため、吸入を行うことがあります ・状態により胃の管が抜けます ・毎日傷の状態を確認します	
検査	・必要に応じて行いません レントゲン・血液・尿・超音波などその都度説明します 						・レントゲン撮影をします(手術室で) ・血液検査があります		・レントゲン撮影をします ・血液検査があります 	
活動安静度	・制限はありません ・深呼吸の練習をします(使用する訓練器具、練習方法を説明します)		・禁煙しましょう				・ベッド上安静ですが、2~3時間後には横向きになれます(看護師が手伝います)		・ベッド上で体を起こします ・さらに、可能であれば歩行します	
食事	・食事は食べれます(禁食の場合もあります)		・朝まで食事は食べれます ・昼から禁食です(水分は飲みます)		・禁飲食です(指示された時間まで水分可) ・内服の指示がある場合は、少量の水で薬を飲みます		・濡れたガーゼで口を拭くことは出来ません		・医師の診察後、水分が飲みます	
清潔	・入浴出来ます		・お臍をきれいにします ・その後、入浴します 		・歯磨き、洗面を行ないましょう 水は飲まないようにして下さい ・男性の方は、ひげを剃って下さい				・蒸しタオルで身体を拭きます ・洗面の介助をします	
排泄	・トイレでできます				・手術室へ入室する前に排尿を済ませます(清潔なパンツにはき替えます)		・手術室で尿の管が入ってきます			
患者様及び御家族への説明 栄養指導 服薬指導	・主治医より手術の説明があります ・看護師より入院や手術、準備物などについて説明があります ・手術室看護師の訪問があります ・手術室の入口までご案内します ・手術後は、観察室又は、個室を準備します ・準備物を確認します(手術後に使用します) 		 ・血液型のリストバンドをします ・手術室へ入室する前に入れ歯や指輪へアピン・眼鏡等は外します ・御家族の方には控え室又はラウンジで待機して頂きます(手術中)		・観察室又は個室へ入室します ・足にマッサージの機械をつけることがあります ・御家族の方へは、手術後に医師からの説明があります 		・状況に応じて病室を変更します(事前に説明します) ・清拭や回診の後に面会が出来ます			

◎この計画書は状況に応じて変更することがあります。変更時は、その都度お知らせいたします。

◎不明な点は、いつでも医師または看護師にお尋ね下さい。

大腸切除術を受ける患者様へ(開腹・腹腔鏡下)

患者氏名		担当医師		受持ち看護師	
月日	手術後2日 ~ 3日目	手術後4日 ~ 6日目	手術後7日 ~ 11日目	手術後12日目以降(退院)	
項目	手術後2日 ~ 3日目	手術後4日 ~ 6日目	手術後7日 ~ 11日目	手術後12日目以降(退院)	
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> *痛みなど症状を報告する *痛みが楽になるよう処置を受ける *回復を早めるため歩行する 	<ul style="list-style-type: none"> *食事は良く噛んでゆっくり食べる *食事の注意について説明を受ける *退院後の生活上の注意点について説明を受ける 		<ul style="list-style-type: none"> *退院の準備が整う(退院基準) ◎食事の約2/3を摂取できている ◎食餌療法について理解できている ◎排便コントロールができている 	
治療・薬剤(点滴・内服)処置	<ul style="list-style-type: none"> ・痰を出すため必要に応じて吸入を行ないます ・背中中の痛み止めの管を抜きます ・腹部に管が入っています ・毎日傷の状態を確認します 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて腹部の管が抜けます 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事が全粥となったら、点滴が抜けます 		
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じてレントゲン撮影や血液検査があります 				
活動 安静度	<ul style="list-style-type: none"> ・病室から廊下へと歩行距離や回数を増やします 		<ul style="list-style-type: none"> ・点滴や腹部の管が抜ければ、制限はありません 		
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の診察後、食事が開始になります 食事は、1日毎に、3分粥⇒5分粥⇒全粥 となります 				
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸したタオルで身体を拭きます ・洗面の介助をします 	<ul style="list-style-type: none"> ・洗面所での洗面を行えるようになります 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示によりシャワー浴又は入浴ができるようになります 		
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・尿の管が抜けると尿器または、ポータブルトイレを使用します。トイレでも排泄できます ・必要に応じて尿を貯めて頂きます 				
患者様及び御家族への説明 栄養指導 服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> ・状態に応じて、病室を移って頂きます 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事が始まると栄養士より食事の説明があります ・内服薬のある方には、薬剤師より説明があります 	<ul style="list-style-type: none"> ・主治医より、病状及び退院についてのせつめいがあります ・看護師より、退院後の生活について説明があります <p>《退院後の生活について》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.食事は、1日3回、1回量を少な目に食べましょう 2.消化の良い食事をゆっくり摂取しましょう 3.定期的に排便があるように気を付け、必要に応じて下剤を服用しましょう 4.定期的に医師の診察や検査を受けましょう <p>退院時に、次回受診について説明があります 次回受診日(</p>		

◎この計画書は状況により変更することがあります。変更時はその都度お知らせいたします。
◎不明な点は、いつでも医師または看護師にお尋ね下さい。